

## 令和 4 年度第 1 回全国健康保険協会山口支部評議会議事概要

開催日時：令和 4 年 7 月 13 日（水）10：00～12：00

開催場所：防長苑「白鳳」

出席者：宇佐美評議員、河村評議員、鈴木評議員、田中評議員、中野評議員、永見評議員、野原評議員、宮地評議員（五十音順）

### 議 題

1. 協会けんぽの令和 3 年度決算見込み（医療分）について
2. インセンティブ制度の見直しに関する検討結果について
3. 令和 3 年度山口支部事業報告について
4. 令和 2 年度山口支部医療費分析について

1. 協会けんぽの令和 3 年度決算見込み（医療分）について  
資料に基づき事務局から説明。

#### 《被保険者代表》

資料 1-2 の 1 ページで、令和 3 年度の地域差分の収支差が 13 億 5,500 万円となり、令和 5 年度の保険料率の算定において、0.13%程度引き下げの要因となるとあるが、令和 5 年度の保険料率は令和 4 年度の保険料率である 10.15%から引き下げられるということか。

#### 《事務局》

令和 4 年度の保険料率 10.15%から 0.13%引き下げられるわけではなく、令和 5 年度の保険料率は、令和 3 年度の各支部の医療給付費等の実績に基づき、新たな保険料率に見直すため、黒字幅 13 億 5,500 万円を令和 5 年度の保険料算定時に精算を行い、保険料率が決定される。

2. インセンティブ制度の見直しに関する検討結果について  
資料に基づき事務局から説明。
3. 令和 3 年度山口支部事業報告について  
資料に基づき事務局から説明。

《学識経験者》

- ① 戦略的保険者機能関係のところ、特定健診の受診率が上がらないことが課題であると思われるが、コラボヘルスの推進で健康宣言事業所数はかなり上昇しているにもかかわらず、事業者健診データの取得率が低いということは、賛同しているが実績が伴っていない矛盾する状態であり、これに対して何らかの策を打っていかないと KPI が上がらないし、現状は変わらないと思われるが、こういった考えをお持ちか。
- ② 高血圧や生活習慣病は慢性化や重症化して医療費が上がるので、ターゲットにするのは重要であるが、山口県のデータとして精神及び行動の障害いわゆるメンタルヘルスが全国で 6 番目に高く、特徴的である。協会けんぽの加入者は産業構造の担い手として心身ともに健康であることが重要であり、メンタルヘルスが注目されていないのであれば、健康施策で身体はもちろんメンタルヘルスにもターゲットを置くべきだと思う。

《事務局》

- ① 事業者健診のデータ取得について、山口県予防保健協会から健診データを取得できており、そのウェイトが高いため取得率は高く、悪い水準ではない。ただ、予防保健協会の健診車の保有体制が決まっているので、年間のキャパは決まっており、伸びが厳しい。問題点を挙げるとすれば、医療機関の健診システムのデータ形式は厚労省推奨形式であっても、データを提出しようとする、ベンダーに要請しないと対応できない現実がある。改修するにも費用がかかってしまう。データ以外の取得となると、健診結果のコピーを同意を得て提出することとなるが、手間をかけて対応していただいているのが現状である。

特定健診、保健指導の受診率においては、特に被扶養者の特定健診、保健指導の受診率が伸び悩んでいる。また、被保険者の保健指導の特徴として、健診を行った医療機関において引き続き保健指導を行う医療機関が、他県に比べて少ない状況がある。

こういった状況を解消すべく、健診を契約している医療機関を訪問して、医者から問診時の患者へ要治療対応、保健指導を行うように依頼する活動を進めるとともに、事業所への啓蒙活動を行い、国民皆保険制度の継続のために重症化予防、医療費の適正化について周知活動を行っていく。

- ② 企業の要望に応じて、支部保健師がメンタルヘルス対策の講話や地域産業保健支援センターの紹介等を行っている。  
協会の中心である規模の小さな事業所ほどストレスチェックの体制が整っ

ていないため、山口県健康福祉部のホームページに厚労省が推奨しているメンタルヘルスチェックが掲載されており、事業所で活用するように周知していきたい。

また、大学等健康に取り組んでいる機関は多いので、意見交換を行い、地域を含めて広く啓蒙、周知活動に取り組んでいきたい。

4. 令和2年度山口支部医療費分析について  
資料に基づき事務局から説明。

《学識経験者》

医療費分析の結果から、山口県の医療費の特徴として何がわかり、どういった取り組みが可能であるのか、といったところまで踏み込んでもらうようお願いしたい。

以上